

**簿記の教科書 日商2級 工業簿記**  
**基本問題 解答用紙**

解答用紙はダウンロードでもご利用いただけます。

TAC出版書籍販売サイト・TAC出版オンラインストアにアクセスしてください。

<https://bookstore.tac-school.co.jp/>

## CHAPTER 02 材料費 基本問題

### 問1 材料費の分類

直接材料費： \_\_\_\_\_ 円

間接材料費： \_\_\_\_\_ 円

### 問3 材料費の計算

(1) 先入先出法： \_\_\_\_\_ 円

(2) 平均法： \_\_\_\_\_ 円

## CHAPTER 03 労務費 基本問題

### 問1 労務費の分類

直接労務費： \_\_\_\_\_ 円

間接労務費： \_\_\_\_\_ 円

### 問2 賃金の消費額の計算

当月の賃金消費額： \_\_\_\_\_ 円

## CHAPTER 04 経費 基本問題

### 問1 経費の分類

直接経費： \_\_\_\_\_ 円

間接経費： \_\_\_\_\_ 円

問1 製造間接費の実際配賦と個別原価計算

原 価 計 算 表

(単位：円)

	No.101	No.102	No.103	合 計
前月繰越				
直接材料費				
直接労務費				
製造間接費				
合 計				
備 考				

仕 掛 品

前月繰越 ( )	製 品 ( )
直接材料費 ( )	次月繰越 ( )
直接労務費 ( )	
製造間接費 ( )	
( )	( )

製 品

仕 掛 品 ( )	売 上 原 価 ( )
	次 月 繰 越 ( )
( )	( )

問3 製造間接費の予定配賦と個別原価計算

仕 掛 品	
前月繰越 ( )	製 品 ( )
直接材料費 ( )	次月繰越 ( )
直接労務費 ( )	
製造間接費 ( )	
( )	( )

製 品	
前月繰越 ( )	売上原価 ( )
仕掛品 ( )	次月繰越 ( )
( )	( )

CHAPTER 06 部門別個別原価計算 基本問題

問1 直接配賦法

製造間接費部門別配賦表

(単位：円)

摘 要	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門	
		第1製造部門	第2製造部門	修繕部門	工場事務部門
部門個別費	571,000	250,000	180,000	84,000	57,000
部門共通費					
建物減価償却費					
電力料					
部 門 費					
修繕部門費					
工場事務部門費					
製造部門費					

問2 相互配賦法

製造間接費部門別配賦表 (単位：円)

摘 要	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門	
		第1製造部門	第2製造部門	保 全 部 門	工場事務部門
部門個別費	599,000	250,000	180,000	108,000	61,000
部門共通費	390,000	171,000	132,000	60,000	27,000
部 門 費	989,000	421,000	312,000	168,000	88,000
第1次配賦					
保全部門費					
工場事務部門費					
第2次配賦					
保全部門費					
工場事務部門費					
製造部門費					

問3 製造部門費の各製品への配賦

(1) 製造部門費の実際配賦率と各製品への配賦額

第1製造部門

実 際 配 賦 率： @                      円

No.101への配賦額：                      円    No.102への配賦額：                      円

第2製造部門

実 際 配 賦 率： @                      円

No.101への配賦額：                      円    No.102への配賦額：                      円

(2) 各製造部門から各製品への配賦の仕訳

借方科目	金 額	貸方科目	金 額

問4 部門別個別原価計算

(A)

製造間接費部門別配賦表

(単位：円)

摘 要	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		第1製造部門	第2製造部門	修繕部門	保全部門	工場事務部門
部 門 費	1,264,000	447,500	377,200	180,000	154,000	105,300
修繕部門費						
保全部門費						
工場事務部門費						
製造部門費						

(B) No.101に配賦される製造間接費（部門別配賦）： \_\_\_\_\_ 円

(C) No.101に配賦される製造間接費（総括配賦）： \_\_\_\_\_ 円

CHAPTER 07 総合原価計算 I 基本問題

問1 先入先出法

① 月末仕掛品原価 \_\_\_\_\_ 円

② 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円

③ 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円

問2 平均法

① 月末仕掛品原価 \_\_\_\_\_ 円

② 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円

③ 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円

## 問1 工程別総合原価計算

総合原価計算表

(単位:円)

	第1工程		第2工程	
	直接材料費	加工費	前工程費	加工費
月初仕掛品	9,600	4,750	23,000	3,520
当月投入	25,500	24,920		47,600
合計	35,100	29,670		51,120
月末仕掛品				
完成品				

## 仕掛品 - 第1工程

月初有高	14,350	次工程振替高 ( )
直接材料費	25,500	月末仕掛品 ( )
加工費	24,920	
	<u>64,770</u>	<u>64,770</u>

## 仕掛品 - 第2工程

月初有高	26,520	完成品 ( )
前工程費 ( )		月末仕掛品 ( )
加工費	47,600	
	<u>( )</u>	<u>( )</u>

問2 組別総合原価計算

総合原価計算表

(単位：円)

	製品 A		製品 B	
	直接材料費	加工費	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	45,300	15,160	52,800	26,250
当月製造費用	99,000		109,200	
合計	144,300		162,000	
月末仕掛品原価				
完成品総合原価				
完成品単位原価	@		@	

問3 等級別総合原価計算

製品 X 1 ① 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円  
 ② 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円  
 製品 X 2 ① 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円  
 ② 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円

CHAPTER 09 総合原価計算Ⅲ 基本問題

問1 仕損・減損の処理 (完成品のみ負担)

① 月末仕掛品原価 \_\_\_\_\_ 円  
 ② 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円  
 ③ 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円

問2 仕損・減損の処理（両者負担－Ⅰ）

- ① 月末仕掛品原価 \_\_\_\_\_ 円  
② 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円  
③ 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円

問3 仕損・減損の処理（両者負担－Ⅱ）

- ① 月末仕掛品原価 \_\_\_\_\_ 円  
② 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円  
③ 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円

問4 仕損・減損の処理（仕損品に評価額がある場合－Ⅰ）

- ① 月末仕掛品原価 \_\_\_\_\_ 円  
② 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円  
③ 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円

問5 仕損・減損の処理（仕損品に評価額がある場合－Ⅱ）

- ① 月末仕掛品原価 \_\_\_\_\_ 円  
② 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円  
③ 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円

問6 材料の追加投入

- ① 月末仕掛品原価 \_\_\_\_\_ 円  
② 完成品総合原価 \_\_\_\_\_ 円  
③ 完成品単位原価 @ \_\_\_\_\_ 円

問7 総合問題

仕掛品 - 第1工程

月初有高：		第1工程完了品：
A 原料費	75,200	A 原料費 (            )
加工費	42,000	加工費 (            )
当月投入：		月末有高：
A 原料費	358,800	A 原料費 (            )
加工費	546,000	加工費 (            )
	1,022,000	
		1,022,000

仕掛品 - 第2工程

月初有高：		第2工程完成品：
前工程費	110,600	前工程費 (            )
B 原料費	—	B 原料費 (            )
加工費	21,000	加工費 (            )
当月投入：		月末有高：
前工程費 (            )		前工程費 (            )
B 原料費	620,000	B 原料費 (            )
加工費	744,000	加工費 (            )
	(            )	
		(            )

## 問1 製造原価報告書の作成

		<u>製造原価報告書</u>	(単位：円)
I	材 料 費		
	主 要 材 料 費	(            )	
	補 助 材 料 費	(            )	(            )
II	労 務 費		
	直 接 工 賃 金	(            )	
	間 接 工 賃 金	(            )	
	給            料	(            )	(            )
III	経            費		
	水 道 光 熱 費	(            )	
	減 価 償 却 費	(            )	
	保 險 料	(            )	(            )
	合 計		(            )
	製造間接費配賦差異	[   ]	(            )
	当 期 総 製 造 費 用		(            )
	期 首 仕 掛 品 棚 卸 高		(            )
	合 計		(            )
	期 末 仕 掛 品 棚 卸 高		(            )
	当 期 製 品 製 造 原 価		(            )

(注) [ ] には「+」または「-」を記入すること。

問2 製造原価報告書と損益計算書の作成

製造原価報告書

(単位：円)

I 直接材料費		
期首原料棚卸高	( )	
当期原料仕入高	( )	
合 計	( )	
期末原料棚卸高	( )	( )
II 直接労務費		
直接工賃金		( )
III 製造間接費		
補助材料費	( )	
間接工賃金	( )	
給 料	( )	
電力料	( )	
減価償却費	( )	
保 險 料	( )	
租 税 公 課	( )	( )
合 計		( )
製造間接費配賦差異	[ ]	( )
当期総製造費用		( )
期首仕掛品棚卸高		( )
合 計		( )
期末仕掛品棚卸高		( )
当期製品製造原価		( )

損益計算書

(単位：円)

I	売上高		7,876,000
II	売上原価		
	期首製品棚卸高	( )	
	当期製品製造原価	( )	
	合計	( )	
	期末製品棚卸高	( )	
	差引	( )	
	原価差異 [ ]	( )	( )
	売上総利益		( )
III	販売費および一般管理費		1,290,000
	営業利益		( )

(注) [ ] には「+」または「-」を記入すること。

問1 パーシャル・プランによる勘定記入

仕 掛 品	
前月繰越 ( )	製 品 ( )
直接材料費 ( )	次月繰越 ( )
直接労務費 ( )	原価差異 ( )
製造間接費 ( )	
( )	( )

問2 原価差異の分析

直接材料費差異	[ ]	円
価格差異	[ ]	円
数量差異	[ ]	円
直接労務費差異	[ ]	円
賃率差異	[ ]	円
時間差異	[ ]	円
製造間接費差異	[ ]	円
予算差異	[ ]	円
操業度差異	[ ]	円
能率差異	[ ]	円

## 問1 全部原価計算と直接原価計算の損益計算書-I

## (1) 全部原価計算の損益計算書

I. 売 上 高	(	)
II. 売 上 原 価	(	)
売上総利益	(	)
III. 販売費および一般管理費	(	)
営業利益	(	)

## (2) 直接原価計算の損益計算書

I. 売 上 高	(	)
II. 変動売上原価	(	)
変動製造マージン	(	)
III. 変動販売費	(	)
貢献利益	(	)
IV. 固 定 費		
固定製造原価	(	)
固定販売費および一般管理費	(	)
営業利益	(	)

問2 全部原価計算と直接原価計算の損益計算書－Ⅱ

(1) 全部原価計算の損益計算書

	第1期	第2期	第3期
売上高	( )	( )	( )
売上原価	( )	( )	( )
売上総利益	( )	( )	( )
販売費・一般管理費	( )	( )	( )
営業利益	( )	( )	( )

(2) 直接原価計算の損益計算書

	第1期	第2期	第3期
売上高	( )	( )	( )
変動売上原価	( )	( )	( )
変動製造マージン	( )	( )	( )
変動販売費	( )	( )	( )
貢献利益	( )	( )	( )
固定費	( )	( )	( )
営業利益	( )	( )	( )

問3 CVP分析－Ⅰ

- (A) 売上高： \_\_\_\_\_ 円 販売量： \_\_\_\_\_ 個
- (B) 売上高： \_\_\_\_\_ 円 販売量： \_\_\_\_\_ 個
- (C) 売上高： \_\_\_\_\_ 円 販売量： \_\_\_\_\_ 個
- (D) 安全余裕率： \_\_\_\_\_ %

問4 CVP分析－II

(A) 直接原価計算の損益計算書

I. 売 上 高		(		)
II. 変動売上原価		(		)
変動製造マージン		(		)
III. 変動販売費		(		)
貢献利益		(		)
IV. 固定費				
固定製造原価	(		)	
固定販売費および一般管理費	(		)	(
営業利益		(		)

(B) 損益分岐点の売上高： \_\_\_\_\_ 円

(C) 売上高営業利益率： \_\_\_\_\_ %

(D) 安全余裕率： \_\_\_\_\_ %

(E) 経営レバレッジ係数： \_\_\_\_\_

問5 高低点法による原価の分解

(A) 最大生産量： \_\_\_\_\_ 個

最低生産量： \_\_\_\_\_ 個

(B) 製品1個あたりの変動費： @ \_\_\_\_\_ 円

月間の固定費： \_\_\_\_\_ 円

(C) 損益分岐点の売上高： \_\_\_\_\_ 円